

平成 24 年度新宿区外部評価委員会第 3 部会 第 8 回会議要旨

<開催日>

平成 24 年 8 月 7 日 (火)

<場所>

区役所本庁舎 6 階 第 4 委員会室

<出席者>

外部評価委員 (5 名)

名和田部会長、荻野委員、中原委員、山田委員

事務局 (3 名)

山崎行政管理課長、大竹主査、担当 1 名

<開会>

1 経常事業評価対象の抽出について

【部会長】

では、第3部会を始めます。

9月から10月にかけて、経常事業評価を行います。第3部会でどの事業を評価するか決めていきたいと思います。

まず、評価作業のスケジュールと評価対象の選び方について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

スケジュールについてご説明します。今日場で、経常事業評価対象を12事業抽出していただき、その12事業を6事業ずつ、2回に分けてそれぞれヒアリングを実施します。その後、2日にわたって部会としての取りまとめを行います。

評価対象事業についてですが、原則として評価対象としていただきたい事業は、事業の方向性を継続以外としている事業です。第3部会では、525番「中小企業向け制度融資」、526番「勤労者福利厚生資金貸付」、541番「内職相談」です。次に、当初予算額が1,000万円以上の事業です。これは、8番「地域協働事業の支援」、527番「商工相談」です。原則として、評価対象としていただきたい事業はこの5事業です。

それから、第2部会が対象の2事業を第3部会で評価していただきます。ここまでで7事業になり、残りの5事業は自由に選択していただいて結構です。これはヒアリングしてみたい、評価してみたいと思う事業などを、選んでいただきたいと思います。

【部会長】

あと5事業を自由に選ぶことができるということですが、いかがでしょうか。

【事務局】

原則選んでいただきたいとは言いましたが、あくまでも原則ですので、入れ替えることも可能です。

【委員】

「中小企業向け制度融資」の經常事業に、予算事業がたくさんついていますが、これはまとめて1事業という数え方ですか。

【事務局】

そうです。これほど予算事業がついている經常事業は、おそらくこれだけだと思います。大体が予算事業7つくらいでおさまっていると思います。

【部会長】

この予算事業の中には、以前外部評価委員会が実施した補助事業評価で、方向性を出した事業も含まれているのでしょうか。

【事務局】

はい。「中小企業向け制度融資」の予算事業のほとんどは、以前補助事業評価を実施しました。

【部会長】

ご質問等のご自由にどうぞ。井戸端会議的にやりながら決めていきましょう。

【事務局】

すみません、1つ説明が漏れていました。先程の必須事業の他に、もう一つ原則として、評価対象から除外する事業があります。当初予算額が100万円以下の經常事業を除外するとしており、第3部会でそれに該当する事業は2つあります。530番「産業コーディネーターの活用」と532番「中小企業向けパソコン教室の運営」です。

【委員】

内職相談というのは、どういう事業ですか。

【事務局】

言葉通り、実際に内職のあっせんをするという事業です。

【委員】

区でそんなことをやっているのですか。

【事務局】

区が仕事を発注するのではなくて、事業者と内職希望者の間を取り持つということをしています。

【委員】

今風の言葉を使えばSOHOですね。そういう意味では現代的ですね。

【委員】

予算規模は4万7,000円ですか。

【事務局】

そうです。あくまであっせんですので、事業的には連絡だけということかと思われま

【委員】

年間に1つか2つくらいしかあっせん実績がないということなのではないでしょうか。

【事務局】

もう少しあるとは思いますが。昔なら内職というのいろいろあったかと思うのですが、今も
そうなのかわかりません。

【委員】

事業統合ということですから、評価する必要があるのでしょうか。

【部会長】

この事業を評価しないで、他の事業を代わりに評価することもできます。

【委員】

事業を整理する意味で、評価してもいいのではないのでしょうか。

【委員】

そうですね。外部評価をすることによって所管課の背中を押すという意味で、そうしてもよ
いと思います。

【委員】

時代の進展を見ながら、いわゆる時代遅れになった事業は順次別の事業へと衣替えしていく
というイノベーションがあつてしかるべきだと思いますが、全くそういうイノベーションをし
ないまま、今までずっと事業をやり続けたことのメカニズムは何なのかを解明するという意味
では、評価してみるのも面白いかと思います。今お話したことは自分の思いですので、実際
に話を聞いてみたら全然違うかもしれません。

【委員】

内職相談は、第二次実行計画の冊子でいうと何ページでしょうか。

【事務局】

164ページですね。

【事務局】

164ページの真ん中あたりに小さく541番と載っているのが、それです。

【委員】

一応ここに事業概要が載っていますね。

【委員】

経常事業についての冊子はないのでしょうか。

【事務局】

ありません。ヒアリングでいろいろと聞いていただくということになります。

【委員】

そうすると、事業が全然わからないままヒアリングを行うことになりますね。

【事務局】

後日お配りする事業評価シートが頼りになるかと思えます。

【委員】

ヒアリングが2日しかないわけですよ。1事業につき大体20分ヒアリングを行うと考えても、その時間だけで何がわかるのかと思ってしまいます。

【部会長】

今年初めて外部評価委員になられた方が多いですが、前期の委員会で補助事業評価をやっていますので、部会としては若干の蓄積はあると思えます。

【事務局】

そうですね。後程、22年度のときの補助事業評価の報告書を参考資料としてお配りします。以前の評価は、今後、経常事業評価をするうえで参考になるかと思えます。

【委員】

495番「住居表示の実施・維持管理」はどうでしょうか。新宿区の目玉ですよ。

【部会長】

目玉なのですか。住居表示って、地方自治法関連法だから興味はあります。全然知らないから、私としてはやってみたいですが、いかがでしょうか。

【委員】

これは結構議論のあるところだから、評価も難しいでしょうね。

【委員】

貸付なら、皆さんわかるのではないのでしょうか。

【委員】

貸付ってというのは補助金のことですか。

【委員】

いや、補助金とは違います。

【部会長】

なかなか選びづらいので、むしろこれは評価しなくてもいいという事業を除外した方が早いかもしれませんね。

【委員】

そうですね。

【部会長】

既に、2つの事業が除外になっていますね。

【委員】

産業コーディネーターと産業創造プランナーは、2つセットみたいなものだから、両方ともやるか、あるいは、両方ともやらないかのどちらかしかないと思えます。

【部会長】

産業コーディネーターは予算規模が100万以下なので、原則として除外することになってい

ますが、入れ替えてもいいでしょう。

【委員】

産業創造プランナーは、どういう人たちなのでしょう。

【事務局】

産業コーディネーターは中小企業等のネットワーク形成というか、そういうことを行っているようです。産業創造プランナーは、 Bizタウンニュースなどに関わっているようで、内部的な事務をする方とだけいただければよろしいかと思えます。

【委員】

ということは、 Bizタウンネットや Bizタウンニュースなど、そのあたりの事業とはセットなのですね。

【事務局】

どちらかと言えば、それぞれに関わり合っている事業かと思えます。

【委員】

それならば、セットでやるかやらないか決めましょう。

【委員】

531番の「優良企業表彰」という事業は、私の知る限りでは表彰しているだけの事業なので、これを評価するよりも、今後につなげるという意味でも、産業コーディネーターの活用などを取り上げた方が良くと思います。

【委員】

では、産業コーディネーターの活用をやりましょうか。

【部会長】

私も、その事業については関心があります。

【委員】

では、やるということで。

【委員】

内職相談もやってみましょうか。

【委員】

そうですね。

【部会長】

この辺で話し合いを振り返りますと、評価対象の候補にあがっているのは、8番「地域協働事業への支援」、これは予算規模が1,000万を超えています。それから、525番「中小企業向け制度融資」、これも1,000万を超えています。それから、495番「住居表示の実施・維持管理」、526番「勤労者福利厚生資金貸付」があります。

【事務局】

第2部会の評価対象が決まったそうなので、それ以外のもので第2部会の分野から2事業を抽出していただきたいと思えます。

まず、第2部会の評価対象を申し上げます。295番「新宿区社会福祉協議会運営助成」、305番「高齢者福祉活動事業助成等」、306番「高齢者クラブへの助成等」、319番「福祉作業所の管理運営」、320番「障害者福祉センターの管理運営」、133番「スクールスタッフの活用」、135番「スクールコーディネーターの活動」、138番「保護者会等での家庭教育事業」、293番「民生・児童委員の活動等」、296番「福祉サービスの利用者支援」、317番「障害者就労支援の促進」です。以上のものを除いたものの中から、2事業を選択してください。

【部会長】

とりあえず、第2部会の2事業は置いておくとして、先程の確認を続けます。「勤労者福祉厚生資金貸付」は、事業の方向性が継続以外なので評価対象としようかということです。それから、「商工相談及び産業コーディネーターの活用」については、評価対象としてみましょうかという話が出ています。それから、「ビズタウンネット」と「ビズタウンニュース」、「産業創造プランナー」、「内職相談」も、評価対象としてみてはどうかということです。こままで10事業です。

この他に、これをやってみたいというご意見はありますか。

【委員】

ありません。

【部会長】

よろしいでしょうか。

【委員】

これでいきましょう。

【部会長】

では、これでいきましょうか。

次に、第2部会の分野から、2つ選びましょう。ただし、第1部会のご意向もありますので確定はしませんが。

何かありますか。例えば、30番「男性の育児・介護のサポート企業応援事業」などはどうでしょうか。これは、第3部会の管轄という感じもしなくはないですね。

【事務局】

すみません。第1部会が先に事業を決めてしまったようです。

【部会長】

どの事業でしょうか。

【事務局】

第1部会が選んだのは、311番「シニア活動館の管理運営」、312番「地域交流館の管理運営」、321番「新宿生活実習所の管理運営」、156番「図書館の管理運営」です。あともう一つ選ばなくてはならないのですが、迷っているのが、156番とは別の図書館の事業と、304番「新宿区シルバー人材センター運営助成等」のところですか。

【部会長】

では、我々としては、別の事業を選ぶこととしましょう。

【委員】

「男性の育児・介護サポート企業応援事業」がいいのではないのでしょうか。

【部会長】

男性の育児ですね。確かにいいですね。

【委員】

男性の育児について評価するのであれば、29番「ワーク・ライフ・バランス企業応援資金」も一緒に選んだらどうでしょうか。

【委員】

しかし、第2部会の分野から必ず2事業選ばなければいけないのでしょうか。

【事務局】

必ず2事業選択してください。数的な問題になってしまうのですが、第2部会の担当する分野は、外部評価全体で19事業を評価していただきたいと考えています。

【部会長】

委員会全体として評価事業数をそろえたいということですね。

【委員】

304番「新宿区シルバー人材センター運営助成等」はどうでしょうか。これは、先程話にでたSOHOなどとも若干関連するので、これを選ぶという手もあると思います。

【部会長】

私も、シルバー人材センターのことについて、関心はありますがこれまで全然知らなかったので、勉強する良い機会であると思っています。

【委員】

これは、割合面白いのではないのでしょうか。

【事務局】

では、シルバー人材センターに決めましょうか。

【委員】

いや、もう一つ決めてからにしましょう。

【委員】

では、「男性の育児・介護サポート企業応援事業」にしましょう。

【部会長】

では、そのようにいたしましょう。事務局は第1部会にこのことを伝えてきてください。

【委員】

すみません。先程話にでてきた住居表示というのは、そもそも何でしょうか。

【事務局】

新宿区でまだ住居表示されていないところがありますが、そうしたところを今後どのようにしていくか、審議会を設けて進めていくというような事業です。

【委員】

これは、やらない方がいいのではないのでしょうか。

【委員】

住居表示をやめて、「ワーク・ライフ・バランス企業応援資金」にしませんか。

【委員】

そうしましょう。

【部会長】

では、そのようにいたしましょう。

【委員】

決定ですね。

【部会長】

よろしいでしょうか。では、事務局の方で確認をお願いいたします。

【事務局】

2部会の分野から評価対象として抽出する事業は、30番「男性育児・介護サポート企業応援事業」と、304番「新宿区シルバー人材センター運営助成等」に決まりました。

3部会の分野から抽出する評価対象事業は、8番「地域協働事業の支援」、29番「ワーク・ライフ・バランス企業応援資金」、525番「中小企業向け制度融資」、526番「勤労者福利厚生資金貸付」、527番「商工相談」、530番「産業コーディネーターの活用」、537番「新宿ビズタウンネット」、538番「新宿ビズタウンニュース」、539番「産業創造プランナー」、541番「内職相談」です。

【部会長】

めでたく決まりましたね。部会としては評価対象事業を選定したということで、ヒアリングの日程等が決まりましたら、改めて事務局よりご連絡いただきたいと思います。

【事務局】

経常事業評価シートについては、用意でき次第、改めてお送りします。

【部会長】

あと、前期の委員会で実施した補助事業評価の資料についても、早目に送ってください。

【事務局】

外部評価の意見だけでよろしいでしょうか。それとも、内部評価や区長の総合判断まで確認されますか。

【部会長】

そうですね。区長の総合判断も要りますね。今回評価対象となっている事業のところだけでも結構ですので、一連の資料を送ってください。

では、今日はここまでにしましょう。

<閉会>